



ふる ばやし

京都府議会議員

vol.08 2022.09

# 古林よしたか 府議会報告

ずっと住み続けられる まちへ

京田辺市 井手町  
宇治田原町



[発行] 古林よしたか 〒610-0334 京田辺市田辺中央3丁目3-1プレステージ番館106号 TEL.0774-64-7078

furubayashi-yoshitaka.com

緊急告知

9月16日 (金)

午後3時50分頃から

京都府議会 代表質問  
令和4年9月定例会

KBS京都で生中継!



? 質問内容

質問1

地域公共交通の維持・確保と今後の交通政策について

詳しい内容は裏面へ

現在、公共交通事業者は、過去に例を見ない規模で輸送需要が減少しており、極めて深刻な経営悪化に陥っています。住民の豊かな暮らしの実現に不可欠な存在であるバス・鉄道などの地域公共交通の維持・確保に向けた京都府の事業展開について知事に質問します。

質問2

京都府のスタートアップ支援について

スタートアップとは、社会を変えてしまうようなイノベーションを起こして、短期間のうちに圧倒的な成長率で事業を展開する企業のことですが、なぜ京都府はスタートアップへの支援が重要だと考えているのか、その根本的な考え方や理念について、また、これまでの取組の中から見えてきた課題と解決策について知事に質問します。

質問3

今後の教育行政の展開について

昨年3月に策定された京都府の教育の羅針盤である「第2期京都府教育振興プラン」と、今年3月に策定された「府立高校の在り方ビジョン」について、これまでの取組で、どのような評価や課題認識をもち、その課題をどう乗り越えていくのかについて教育長に質問します。

質問4

「危機に強い京都づくり」の観点から  
総合計画の見直しについて

今回の総合計画改定に当たって、医療、防災、食料、エネルギー等、あらゆる危機にまみれている私たちの安心・安全を守り抜くため、現状をどのように分析し、どのような課題認識をもち、いかにしてより一層強靱な備えを構築していくのかについて知事に質問します。



古林よしたか 事務所のご案内

〒610-0334 京田辺市田辺中央3丁目3-1  
プレステージ番館106号

TEL.0774-64-7078 FAX.0774-64-7079

✉ furubayashi.yoshitaka@gmail.com



ホームページ



facebook



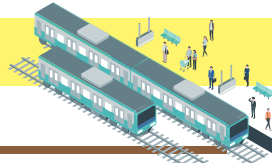
twitter

https://furubayashi-yoshitaka.com/

古林よしたか



質問 1



## 地域公共交通の維持・確保と今後の交通政策について

- 1 国は、令和3年12月に鉄道駅のバリアフリー化加速のための新たな料金制度を創設。利用者の少ない鉄道駅のバリアフリー化の加速が期待される中、府域のバリアフリー化の進捗状況と新たな料金制度の取組状況は。
- 2 JR奈良線第二期高速化・複線化事業について、進捗状況、開業時期、開業効果、さらに全線複線化に向けた知事の考えは。
- 3 今後の地域公共交通の維持・確保に向けた府の事業展開への考えと、AIや自動運転などの新技術導入への現状と今後の見通しは。

質問 3



## 今後の教育行政の展開について

- 1 「第2期京都府教育振興プラン」の初年度の実施状況と分野横断的な「教育環境日本一プロジェクト」の取組状況も含め、初年度の実施状況に対し、どのような評価や課題認識をもたれているのか。そして、その課題をどのように乗り越えていくのか。
- 2 今年の3月に策定された「府立高校の在り方ビジョン」の具現化に向けて、今後どのように取組を進めていくのか。スケジュールや取組方針も含め、現時点における教育長の見解は。

質問 2



## 京都府のスタートアップ支援について

- 1 「グーグル、アマゾン、アップル」など世界を席巻するアメリカの新興企業は、株価上昇には貢献しているが、中間層の雇用や所得の改善には繋がっていないとの研究結果。日本でも世間の「スタートアップと言えば素晴らしいもの」といった空気に流され突き進んでも、府民の利益には繋がらない。府はスタートアップへの支援を重要だと考えているが、その根本的な考え方や理念は。
- 2 「起業するなら京都・プロジェクト」を開始してから2年。これまでの取組から見えてきた課題と乗り越えるために必要なものは何か。
- 3 府はスタートアップからユニコーン企業に飛躍してもらうためにどのような戦略を持っているのか。  
※ユニコーン企業…「評価額が10億ドルを超える、設立10年以内の未上場のスタートアップ企業」のこと。

質問 4



## 「危機に強い京都づくり」の観点から総合計画の見直しについて

- 1 非常事態が起きても社会経済全体が止まらないような京都府をつくり、府民の安心を確保しなければならない。総合計画改定にあたり「危機に強い京都づくり」のために医療・防災・食料・エネルギー等あらゆる自給率の向上や供給能力の拡大が必要と考えるが、どのようにそれらを高めていき、危機に強い体制を構築していくのか。
- 2 コロナ感染拡大、食料・エネルギー不足、激甚化する自然災害など高まり続けるリスクに備えるためには、地域の実情に応じて柔軟な使い方ができる財源を確保し、府民の命や財産、暮らしを守らなければならないと考える。国庫制度の拡充とともに自由度の高い大規模な財源を確保し、今すぐ強靱な備えを行うべきだと考えるがどうか。



京都府議会議員 古林よしたか 代表質問

ぜひ、ご視聴ください。

9月16日(金) 午後3時50分頃から

